

下北地区統合校教育内容等情報交換会における意見のまとめ(案)

令和7年2月14日

1 下北地区統合校教育内容等情報交換会の開催趣旨について

下北地区統合校教育内容等情報交換会（以下「情報交換会」とする。）は、青森県立大湊高等学校及び青森県立むつ工業高等学校（以下「関係校」とする。）の統合による下北地区統合校の開設に当たり、令和7年度に設置する開設準備委員会における検討を更に充実させるため、開催されたものです。

以下は、情報交換会で出された意見をまとめたものですので、開設準備委員会では、これらの意見も踏まえて、協議していただくことを望みます。

2 これまでに出された意見について

(1) 目指す人財像・学校像

〈目指す人財像〉

- 社会の発展を担う幅広い視野を持ち、課題発見・解決に向けて、主体的・協働的に取り組む人財。
- グローバル社会で通用する視点や能力を有し、国内外に情報発信する能力を備えた人財。
- 多様性を尊重する心やふるさとを愛する心を備え、地域で活躍できる人財。
- 工業分野における専門知識・技術、倫理感を身に付け、新たな価値を創造し、より良い地域を実現しようとする人財。
- 新しい時代を生き抜く起業家精神などの資質・能力を備えた人財。

〈目指す学校像〉

- 地域課題等の解決に向けた実践的な取組により、郷土を愛する心、主体的に課題を発見・解決する力、地域に価値を見出し地域ブランドを確立する力などを育成する学校。
- 産学官協働による実践的な学びにより、工業分野における専門知識・技術、倫理感や、未知の領域へ果敢に挑戦し、新たな価値を見出す力を育成する学校。
- 学科・系列の横断的な学びの充実により、多様性を尊重する心、コミュニケーション能力、マーケティングに関する知識、情報収集及び処理能力を育成する学校。
- アントレプレナーシップ教育の充実により、起業家精神などの資質・能力を育成する学校。
- キャリア教育の充実により、小学校・中学校・高校の継続的なキャリア教育の拠点となる学校。
- 関係校の強みを組み合わせた学校。
- 自身の資質向上を図りながら、協力し合い、物事を成し遂げられる力を身に付けることができる学校。

(2) 特色ある教育活動

〈引継ぎが考えられる教育活動〉

- 地域のことを学び、地域と交流する教育活動。
- 大湊高校で取り組んでいる探究活動や「外まなび部」などの教育活動。
- 地域や企業、研究機関との連携による共同開発など、地域に貢献する教育活動。
- 成果発表会の開催など、地元の中学校に高校を知ってもらう教育活動。
- 第三種電気主任技術者認定校の要件を満たした教育課程。

〈新たに考えられる教育活動〉

- 実践型のインターンシップの拡大や、地域の小・中学校と高校による系統的なキャリア教育の推進、関係校それぞれのキャリア教育の強みの融合などにより、生徒の多様な進路へ対応する教育活動や進路指導の充実。
- 総合学科と工業科の併置によるメリットを生かし、補習等で工業簿記を行うなど、職業資格の取得につながる教育活動。

(3) 総合学科と工業科の連携

- 総合学科と工業科の併置によるメリットを生かした学科・系列等の横断的な学びにより探究学習の充実と深化を図る。
- 学科・系列の専門性や系統的な教育活動を基本としつつ、以下のような教科・科目の履修選択の枠組みを検討することも考えられる。
 - (自然科学系列と工業科の連携)
 - ・ 製品の共同開発、試作、データ分析のものづくりの一連形態を学習。
 - ・ 自然科学系列の生徒が、工業科の設備を活用することで、高いレベルの研究等による進路選択の幅の広がり。
 - (健康福祉系列と工業科の連携)
 - ・ ユニバーサルデザインや地域の医療福祉分野に関する調査・研究から、ものづくりへつなげることによる教育活動の充実。
 - ・ 健康福祉系列の生徒が介護実習等において、介護備品の不便と思う点に対し、工業科の技術を取り入れ、その不便さの解消。
 - (情報ビジネス系列と工業科の連携)
 - ・ 情報コースにおいて、資格指導や、情報技術分野の知識・技術の高度化によるビッグデータの解析・活用方法などの学習の充実。
 - ・ 多面的な地域課題の発見・解決に向けて、工業科がつくり上げた製品を活用して、地域ブランディング力やマーケティング力を育成する取組。
 - ・ 高性能な設備の使用や、専門性を有した教員の指導による、分野横断的な学びの受講。
- 生徒が興味・関心や進路志望に応じて、主体的に取り組めるよう、専門の教科・科目だけでなく、課題研究等での連携・実践を通して、思考力や探究力などの力を育むとともに、知識や技術を習得し、地域を支える人財育成にもつなげる。